



学校教育目標

すべての子どもが
楽しい学校

目指すみのわっ子像

みらいを創る子

豊かなかかわりを通して、夢や希望をもち、自分の力で進んでいく子を育てます。
(公) (開) (体)

のびる 高める子

いろいろなことに興味をもち試行錯誤を繰り返して探求する子を育てます。
(知)

わかちあい 認め合える子

多様な考えを受け入れながら、仲間と感動を素直にわかち合える子を育てます。
(徳)



◇箕輪デザインとしている理由

教職員だけでなく箕輪小に関わる全ての方で創る学校でありたい。

◇箕輪デザインは、あくまでもイメージ

何が大切かを（教育の本質）を見極め、皆で責任をもって学校を創ってもらいたい。



基本となる方向性

1 「ピンチをチャンスに変える」から「チャンスを生み出し、チャンスを生かす」学校を目指します。

スケールメリットを生かし、教育慣行に囚われずチャレンジする。

2

学び合いを通して**主体的、対話的で深い学び**を目指します。

教師が指導性を発揮し、子どもの思いや願いから動きのある単元構成を大事にする。

3

子どもも教職員も一人にしない、互いに高め合う学校を目指します。

一人を徹底して大事にし、すべての子どもが居心地のよい集団を育成する。

すべての子どもが楽しい学校

家庭とのつながり

学校と関わる機会を広げる

保護者の学習参加・ボランティアの促進

地域とのつながり

地域に関わる方との
豊かな交流の実現

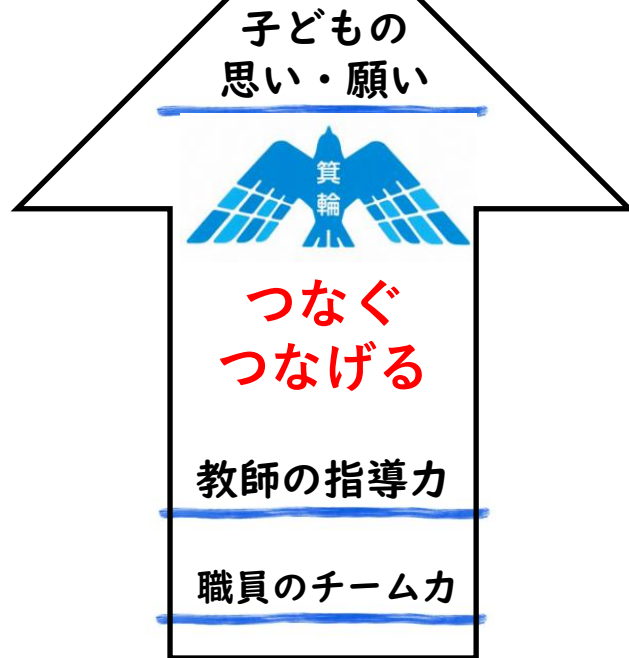
地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域から学ぶ

関係機関・企業とのつながり

専門性・先進性を活かす
学習の創造

SDGs

本物に触れる・本物から学ぶ



教職員
 教職員のゆとりが
 豊かな教育の原点
 放課後の確保が明日の授業の第一歩

教育課程

スケールメリットを活かす編成

つながり（交流・連携）の促進

特別支援教育

誰一人取り残さない学校

持続可能な特別支援教育
個別支援学級の弾力的な運営

学習

子ども同士で創る学習へ

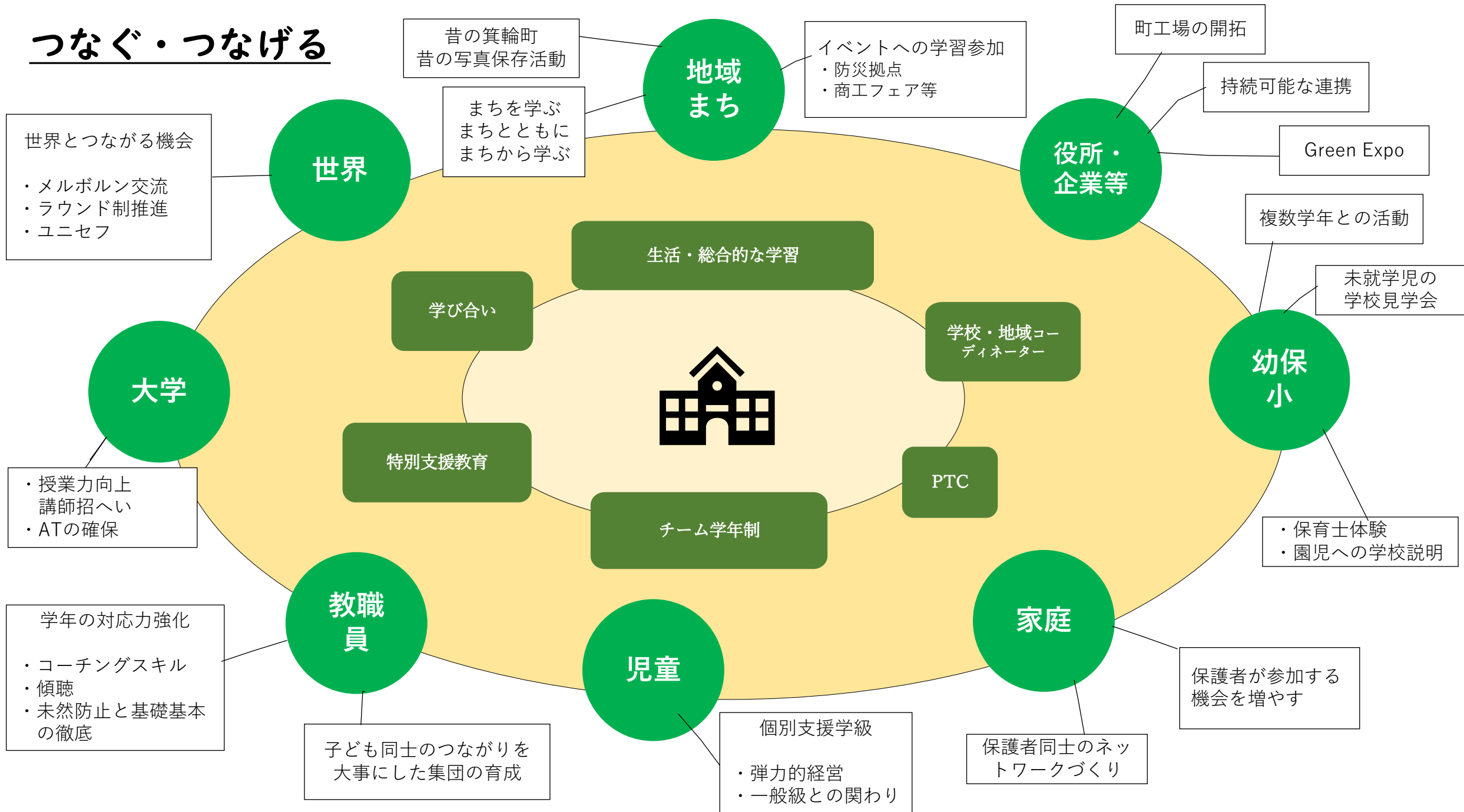
生活・総合的な学習が
研究の柱

児童指導

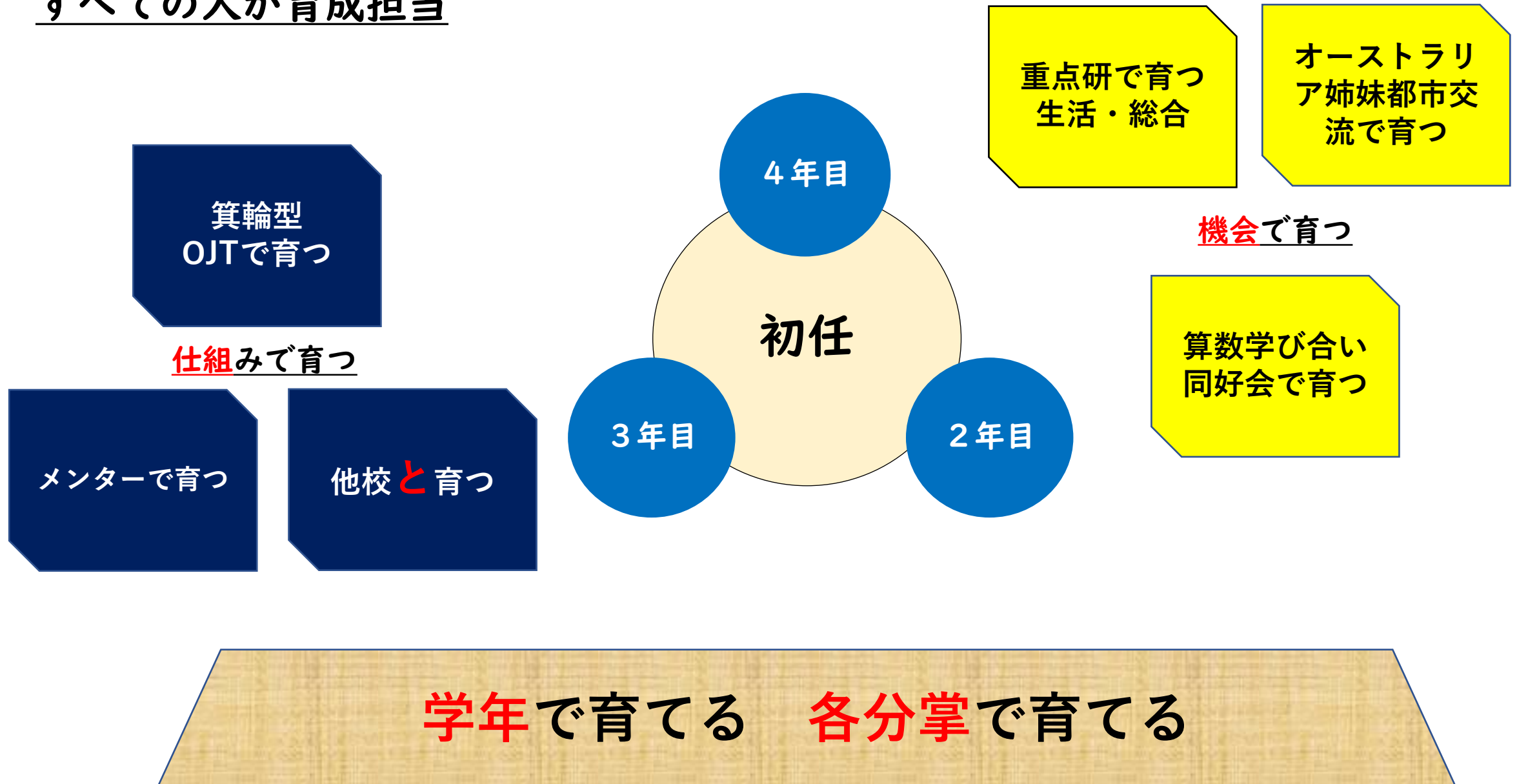
チーム学年で
徹底して一人を大事にする

一人を皆で育てる体制づくり

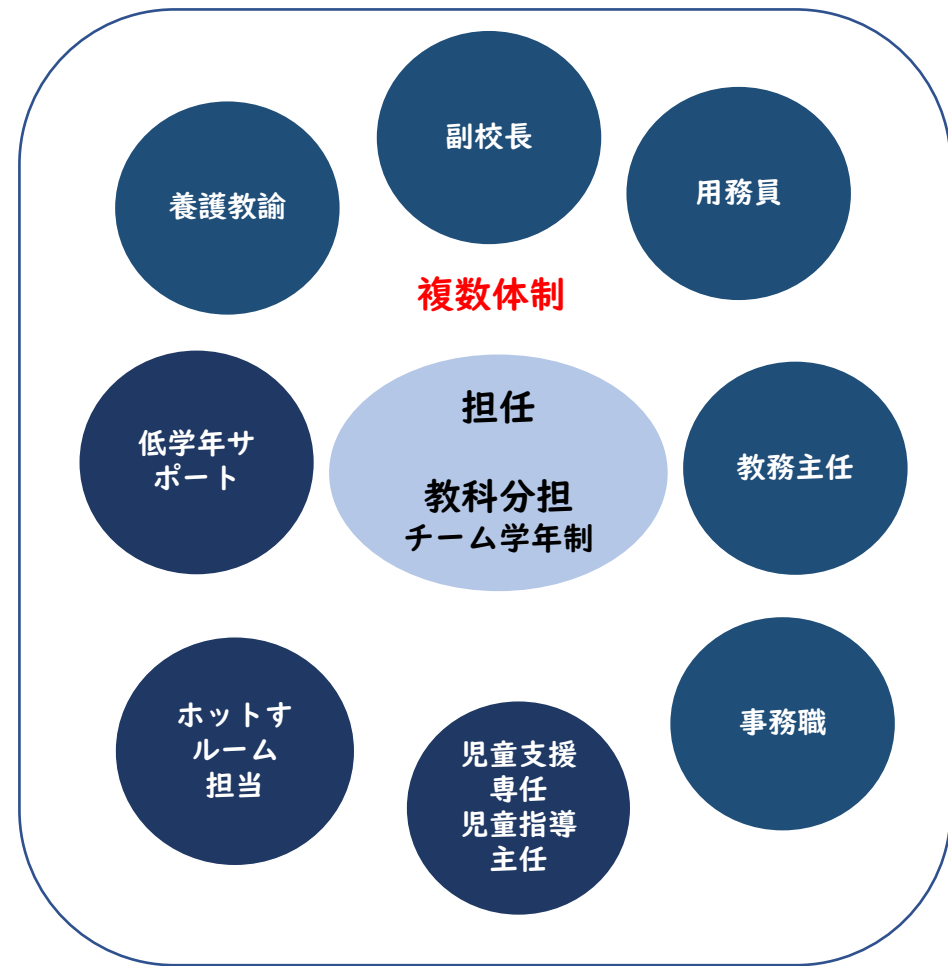
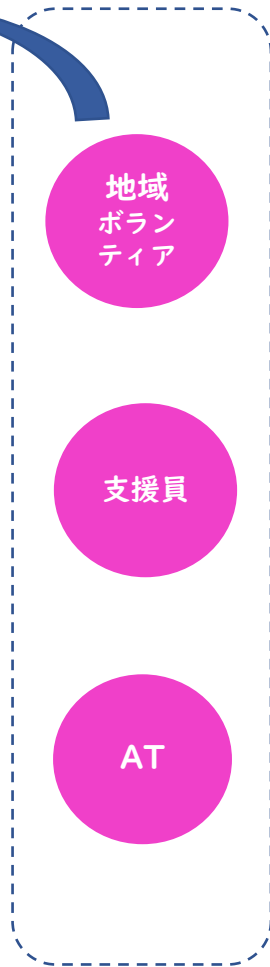
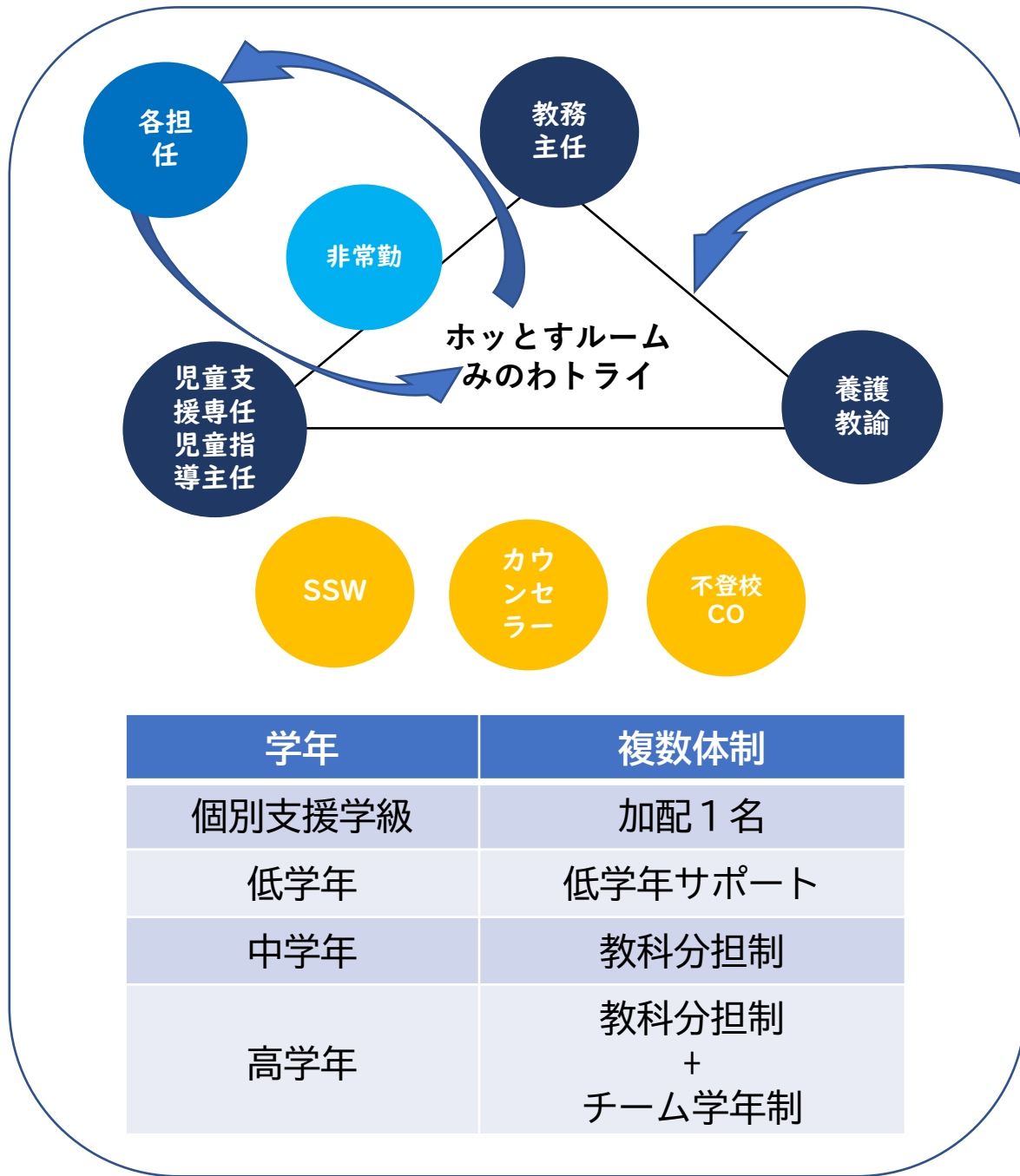
つなぐ・つなげる



すべての人が育成担当



子どもも教職員も一人にしない学校



※今後は担任も複数で行うことが増えることが想定されます。